

事業者の方へ

事業者が **ワーク・ライフ・バランス** をすすめる

メリット

復職の支援

残業の削減促進

優秀な人材の確保・定着

休暇取得の促進

従業員の意欲向上

業務の見直し

生産性の向上

企業イメージ向上

など

事業所内
保育所の設置

休業制度の
利用促進

表彰制度
あります!!

岐阜市男女共同参画優良事業者表彰

「ともに輝く☆キラリ大賞」

岐阜市では、男女共同参画推進に向けての取組を積極的に行っている事業者を表彰しています。

男女の人権に配慮し、男女がともに働きやすい、
又は活動しやすい環境づくりに積極的に取り組んでいるもの

(例) 男性の育児休業取得者がいる。子育てや介護のための経済的援助制度がある。

女性の能力の活用又は活動領域の拡大に積極的に取り組んでいるもの

(例) 年齢や性別にとらわれない能力活用に力を入れ、研修を充実している。
雇用管理制度や人事評価制度等の見直しを行った。

仕事と家庭の両立を支援するため、法制度を積極的に活用し、
又は法を上回る処遇をし、若しくは柔軟な働き方ができる
独自の制度等があり、それが活用されているもの など

(例) 短時間勤務や、フレックスタイム制を導入している。事業所内保育所を設置している。

これまでの受賞
事業者A企業のコメント

優良事業者表彰の受賞の様子が新聞記事に掲載され、お客様からの反応がよかったですね。また、採用応募者に女性が増えたので、「女性が働きやすい」という企業イメージの向上につながりましたね。



※詳細につきましては、下記までお問い合わせください。

岐阜市 男女共生・生きがい推進課
平成27年8月発行

〒500-8701 岐阜市今沢町18番地
TEL:058-214-4792 FAX:058-264-8602
Email:danjo-ikigai@city.gifu.gifu.jp

仕事 生活 調和 ワーク・ライフ・バランス を考えよう

—— バランス、取れてますか? ——

ワーク・ライフ・バランスとは

男女が人生の各段階において、仕事、家庭生活、地域活動、個人の自己啓発など様々な活動を自らの希望に沿って展開できる状態。

家庭では

家族が互いに協力し、ゆとりある家庭生活をおくる



地域社会では

老若男女だれもが参画し、住みよい地域を実現する



学校では

一人ひとりの個性を大切に、互いを尊重する意識を育む

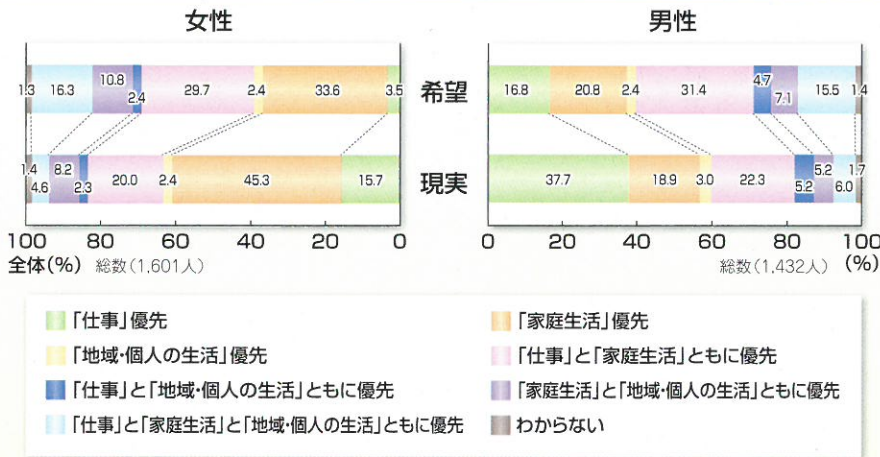


職場では

男女が対等なパートナーとして、いきいきと活躍する



仕事と生活の調和に関する希望と現実

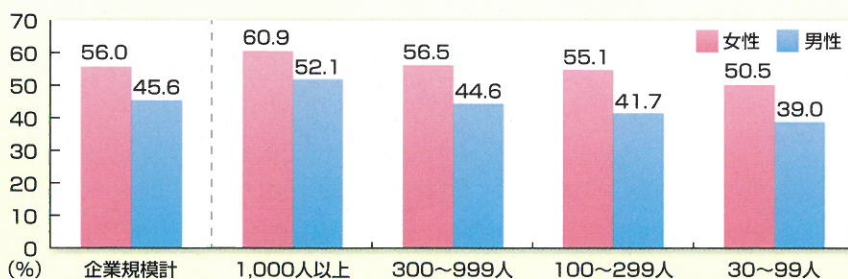


資料:内閣府「男女共同参画社会に関する世論調査(平成24年10月調査)」

「仕事」「家庭生活」「地域・個人の生活」の優先度についての希望と現実

希望は、「仕事」と「家庭生活」を共に優先等の複数の活動をバランスよく行いたいとする人の割合が高くなっています。一方現実には、男性では「仕事」優先が37.7%、女性では「家庭生活」優先が45.3%と「仕事」が「家庭生活」のいずれか一方を優先せざるを得ない人が多くなっています。

企業規模別の年次有給休暇取得率



「年次有給休暇の取得率」

常用労働者の年次有給休暇の取得率は、男性より女性の方が高く、また男女とも企業規模が大きいほど取得率は高くなっています。

(備考) 1. 厚生労働省「平成26年就業条件総合調査」より作成。 2. 調査対象は、常用労働者が30人以上の民営企業。
 3. 東日本大震災による企業活動への影響等を考慮し、被災地域(※)から抽出された企業を調査対象から除外し、被災地域以外の地域に所在する同一の産業・規模に属する企業を再抽出し代替。
 ※国土地理院「津波による浸水範囲の面積(概略値)」について(第5報)「(平成23年4月18日公表)」により、津波の浸水を受けた地域並びに東京電力福島第一原子力発電所において発生した事故に関し設定された警戒区域等(市区町村単位)。